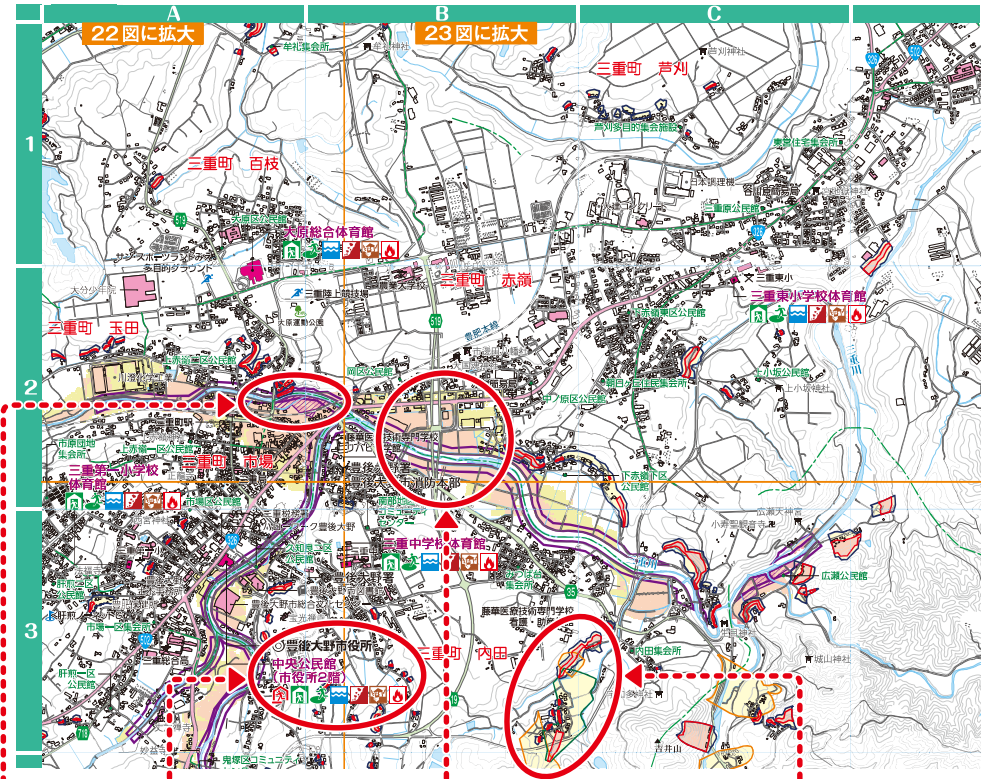


はじめに 防災マップの使い方・見方

防災マップは 29 ページから掲載しています。



避難所		浸水した場合に想定される水深		土砂災害警戒区域	
	市設置自主避難所		20m 以上の区域		警戒区域
	指定避難所		10m ~ 20m 未満の区域		特別警戒区域
	指定緊急避難場所		5m ~ 10m 未満の区域	急傾斜地 傾斜度30°以上で高さ5m以上の急傾斜地を抽出しています。	
指定緊急避難場所が対応する災害種別			3m ~ 5m 未満の区域		
	洪水		0.5m ~ 3m 未満の区域	土石流 渓床勾配が3°以上(火山砂防地域では2°)の渓流を抽出しています。	
	地震		0.5m 未満の区域		
	土砂災害	早期の立退き避難が必要な区域：家屋倒壊等氾濫想定区域			
	その他				
	洪水氾濫	木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫が発生するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。			
	河岸侵食	家屋が倒壊するような河岸侵食の発生のおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。			

地震や風水害などの自然災害の発生を防ぐことはできませんが、災害による被害は日頃からの備えによって減らすことができます。そのためには、行政などによる防災対策である「公助」ばかりでなく、自分の命は自分で守る「自助」と地域全体で助け合う「共助」が欠かせません。

いざという時に備えて、非常持出品の準備や家屋の耐震改修、家具の固定など、まずは身の回りの安全対策からはじめましょう。災害が発生した場合を想定して、どこに避難すればよいか、家族とはどう連絡を取り合うかなどについて事前に家族で話し合っておくことも大切です。地域の自主防災組織の活動にも積極的に参加し、防災訓練などを通じて災害時の協力体制を確認しましょう。

本冊子は、地震、風水害、土砂災害などに関する基本的な知識や災害発生時の対処法をまとめています。また、土砂災害については、市内で想定されている危険箇所を確認できる防災マップも掲載しています。本冊子をよくお読みいただき、また常に手近に備えていただき、災害時の被害軽減に役立ててください。

目次

はじめに 防災マップの使い方・見方 …… 1	家族との連絡 ルールの確認と連絡方法 …… 21
5つの教訓 大規模災害の教訓 …… 2	避難情報 警戒レベルの確認 …… 22
地震災害	災害時の避難ポイント 安全な避難のために …… 23
主な地震災害 …… 4	避難所生活 心得と健康管理 …… 24
地震の揺れと想定される被害 …… 5	地域防災
地震発生時の行動 …… 6	地域ぐるみで支えあう …… 25
屋内での地震対応 …… 7	地域で支えあう避難支援への取り組み …… 26
屋外での地震対応 …… 8	応急手当 いざというときに備えて …… 27
大きな揺れに備えて「安全対策」 …… 9	避難所一覧 …… 28
風水害	豊後大野市 防災マップ
必要な情報の選択 …… 10	全図 …… 29
集中豪雨の危険性 …… 11	広域図 …… 30
危険判断能力を高める …… 12	詳細図 …… 58
土砂災害	非常持出品 準備しておきたい非常持出品 …… 80
種類と前兆現象・警戒区域 …… 13	わが家の防災メモ …… 81
避難のタイミング …… 14	
避難のポイント …… 15	
火災	
被害を最小限に …… 16	
避難と予防 …… 17	
原子力災害	
情報収集 …… 18	
防護対策「屋内退避」 …… 19	
避難行動 …… 20	

豊後大野市防災ガイドブック

令和3年3月発行

発行・お問い合わせ先： 豊後大野市 総務課
制作・印刷： (株)ゼンリン大分営業所

TEL0974-22-1001
TEL097-534-0879

【この資料は、豊後大野市長の承認を得て、同市三重町都市計画図を使用したものである。(承認番号)平成30年9月26日建設第0926001号】
【この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号24-41号 平成24年8月3日)】
【測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R21111s 293-063号】
【JIS Z 8210 広域避難場所 避難所(建物)洪水/内水氾濫 崖崩れ・地滑り】